

マレーシア LOT10
旧正月 販売促進活動

日本青果物輸出促進協議会



マレーシア 販売促進活動 旧正月

今期3度の販売促進活動は、旧正月の販売LOT10 Chinese New Year Oishii Fairで中華系で好まれる赤色の商品構成で行った。

期間は1月20日より2月1日の13日間

商品構成は苺を4種類、高糖度トマト類を3種類、リンゴを5種類

富裕柿、トマトジュース、人参ジュース

イートインとして、苺とみかんを使った

フルーツサンド、カレー、苺ベースのカットフルーツと

原体、イートイン、飲料と売る形のバリエーションは

十分に準備が出来た販促だ。



円形ブースでの陳列（右左共に）

マレーシア 販売促進活動 旧正月 2

シンガポールでの販売は中華系の人口が50%以上となる為、28日の当日3日前から急激に客足が増え対応が混乱するほどなので事前仕込を十分に行い当日での作業を軽減し販売促進にそなえる。

1点異なるのは28日は店休にはならず通常営業となる為、旧正月での人の動きがまだわからない。

イトインは苺のメニューを中心に動きはますます。

ジュースはローカルのスロージャーで振舞う物が安価で販売されており単価以上のクオリティーで有る事が確認出来、改善の余地が必要な事と販売形態を修正し再度試みる。



ジュースの試飲販売（



イトインのオーダー対応

マレーシア 販売促進活動 旧正月 3

苺は、あまおう、紅ほっぺ、やよいひめ、淡雪苺、1段詰めの平トレタイプで統一 一部テストでの ゆりかーご を販売 容器の特徴の珍しさと、商品の棚持ちの良さで通常商品の1.5倍の売価にも拘らず動きは思ったほか良かった。

販売するアイテムの売価は、特選として特別な価格を着けるものか 中国やアメリカ産そして韓国産などに近い売価で販売出来る サイズやグレードでのアピールが重要であり、今までは違いを伝える為の しっかりした物で が必要だったが今求められている事は違うようだ。 まだまだお客様方が求めている商品と価格の要求に応えられていない事を 痛感し、輸送コストと商品選定の精度を高める努力が弊社が行う重要課題である。



トマトと苺の円形陳列



お昼時のイートインテーブル